

概要版

第三次船橋市

子供の読書活動推進計画

【平成 31 年度(2019 年度)～平成 37 年度(2025 年度)】



読書が好きな子供の割合

100%

1 か月に読んだ本が
0 冊の子供の割合

0%

を目指します

平成 31 年 (2019 年) 2 月
船橋市教育委員会

船橋市では、「子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことのできる環境づくり」を目的として「第三次船橋市子供の読書活動推進計画」を策定しました。

船橋市の子供たちの読書の現状

第二次船橋市子供の読書活動推進計画における成果と課題

成果

- ①読書が好きな児童生徒の割合が全国及び県の平均よりも高い



学校の読書の時間がきっかけで本が好きになったよ

- ②児童生徒への年間貸出冊数が増加している

市立小・中学校の図書館での児童生徒への総貸出冊数

平成 18 年度
「めざせ！150 万冊」



平成 29 年度
「めざせ！360 万冊」
達成！



- ③ブックスタート事業での絵本の配布が、家庭での絵本の読み聞かせのきっかけづくりに寄与している

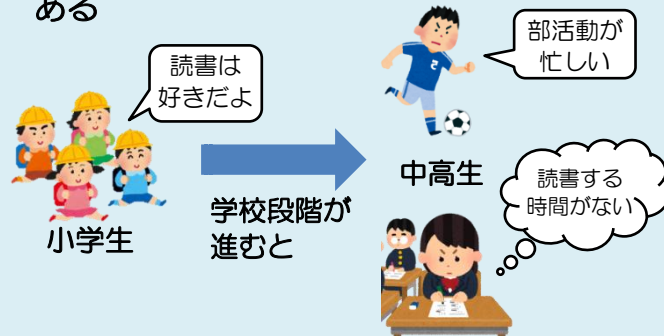
保護者



4 か月児健康相談で絵本をもらったことが読み聞かせを始めるきっかけになりました

課題

- ①学校段階が進むにつれて読書離れの傾向がある



- ②読み聞かせや読書の意義について、保護者への一層の啓発が必要



保護者

読み聞かせの大切さや利点を伝える場がもっと必要よね

本が身近にある環境を作ることが大切ね

子供たちに本を読んでもらうために

基本方針

読書に親しむ機会の充実

子供が読書の習慣を身に付けるよう、家庭・地域・学校等が連携・協力しながら、読書機会の提供・充実に努めます。



読書環境の整備

子供が読書の楽しさを知り、読書に親しむために、発達段階にに応じて、本・施設・設備や人的環境の整備・充実に努めます。



普及啓発活動の推進

身近な大人が読書活動に理解と関心を持ち、社会全体で読書活動を推進する機運を高めるため、啓発や広報に努めます。



具体的な取組

家庭における取組

家庭における読書活動を推進するため、各施設において普及啓発活動等の取組を行います。

【主な事業】

・ブックスタート事業（保健センター）

できるだけ早い時期に全ての子供に「絵本」と出会う機会を作り、親子が触れ合い、語り合い、絆を深めることを目的に、保健センターで行われる4か月児健康相談の機会に絵本を配布し、絵本の選び方や読み聞かせ方の講話などを実施します。



公民館での保護者向け絵本講座

・セカンドブック事業（図書館）

より多くの本と出会う機会を提供するため、1歳6か月児健康診査を受診した子供に、図書館で絵本を1冊手渡し、来館やおはなし会への参加を促します。

・公立保育園での保護者への啓発（公立保育園）

図書館主催講座のパンフレットやポスターを掲示し、保護者へ情報提供を行います。

・講座等を通じた保護者への啓発（児童ホーム・子育て支援センター・公民館）

保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるための講座を実施します。

地域における取組

地域の中で中心的な役割を担う図書館や、公民館・児童ホーム等の生涯学習施設・子育て支援施設において、読書活動を推進する取組を行います。

【主な事業】

・保護者や読み聞かせグループ等への啓発（図書館）

読み聞かせ初心者の方向けに、図書館主催で読み聞かせの方法等についての講座を開催します。

・10代の利用者向け事業の実施（図書館）

10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施します。

・YAコーナー※1を活用した交流の場の提供（図書館）

10代の利用者によるおすすめ本の紹介コーナーを設置する等、利用者同士が読書を通じて交流していく場を提供します。



10代の利用者向けYAコーナー

・外国語の図書の充実（図書館）

日本語以外の言葉を母国語とする子供向けの図書等の充実を図ります。

・読み聞かせ活動やおはなし会の実施（児童ホーム・子育て支援センター・公民館）

利用者を対象とした読み聞かせやわらべうた、手遊び等を行います。

・図書の購入（放課後ルーム）

新たに図書を購入し、蔵書の充実を図ります。

・「子ども読書の日」等にちなんだ普及啓発の推進（児童ホーム、子育て支援センター）

「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ、本に関連した事業の実施を図ります。



児童ホームでのおはなし会

※1 YAコーナー：中学生や高校生など、10代の利用者に対して行われる図書館サービスを、ヤングアダルト（YA）サービスという。船橋市図書館では、10代のための図書コーナーとして、YAコーナーを設置している。

学校等における取組

学校や保育園において、読書活動を推進する取組を行います。

【主な事業】

・職員の絵本に関する技術向上（公立保育園）

職員の技術向上のため、図書館職員による絵本やお話の講座に参加します。

・「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施（学校）

読書習慣を身に付けさせるため「朝読書」や「読み聞かせ」等を、各学校の実情に合わせて取り組みます。

・読書意欲を高める取組の実施（学校）

ポップづくりやブックトーク※2、ビブリオバトル※3等、児童生徒が相互に図書を紹介する活動や、読書意欲を高める取組を行います。

・学校図書館資料の充実（学校）

子供たちが幅広いジャンルから本を選び、多くの図書に触れる機会がもてるよう、学校図書館資料の充実を図ります。

・特設コーナーの設置（学校）

総合的な学習の時間や教科等の授業で学んでいる内容の本や、季節ごとの行事に関連した本などを集めた「特設コーナー」を設置します。

・障害のある児童生徒への読書環境の整備（学校）

LLブック※4や点字本等、発達に応じた図書資料の整備を行います。



学校司書によるおはなし会



ポップの掲示



特設コーナー

※2 ブックトーク：特定のテーマに沿って、本に興味を持てるよう何冊かの本を順序立てて紹介すること。

※3 ビブリオバトル：発表者が本の魅力を紹介したのち、参加者が「どの本が一番読みたくなったか」を基準として投票し、勝敗を決める。2007年に京都大学の研究室で始まり、広まった。知的書評合戦と呼ばれることもある。

※4 LLブック：読むことが困難な人々が理解しやすいよう、写真やイラストを多用しており、視覚的にわかりやすく作られた本。

家庭・地域・学校等が連携・協力し
子供の読書活動を推進します



■発行 船橋市教育委員会

■編集 生涯学習部社会教育課

〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号

電話 047-436-2895 FAX 047-436-2893

■本編はホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/gakushu/003/p019879.html>



表紙について…題名「とびだす絵本」

船橋北高等学校美術部の生徒の皆さんが、「子供たちが本を好きになるように」という思いを込めて八木が谷北小学校の図書室前に描いた壁画。